



堀 譲 議員
YUZURU HORIE



暑さ対策について

問 記録的な猛暑が続き、熱中症による死亡者も多い。その大半が高齢者である。エアコンはあるが電気代がかかる、故障して修理代が払えないなど、生活困窮者を直撃している。エアコン購入等についての補助が全国で広がっている。市の考えはどうか。

答 低所得者世帯には、価格高騰緊急支援金を支給する中で購入された方もある。市としては、購入の補助は考えていないが、日々の健康管理や予防について啓発している。また、近所の方々に、高齢者等への目配り・声掛けをお願いしている。

問 学校の部活動等についても配慮が必要である。熱中症警戒アラートが発表された場合、どのような対応をとっているのか。

答 熱中症対応のマニュアルを

策定し、校長会で周知徹底している。警戒アラート発令時には、屋外やエアコンのない屋内での運動を原則中止し、生徒の体調管理を徹底している。

大阪・関西万博への児童・生徒の参加について

問 児童・生徒を参加させる「無料招待事業」としている大阪・関西万博。県教育委員会は強制するものではないとし、近隣の教育委員会も慎重な対応を取っているが、市はバス代等を公費で補助し、推進の立場である。しかし、この会場は、ゴミ等の最終処分場であり、常時、ガスが発生している。爆発事故も起こるなど、安全性に問題を抱えている。その上で参加させる理由は何か。

答 次世代を担う児童生徒にとつて、未来社会を体験でき、未来を創造する力が育っていくと考える。事故現場では基準値以上のメタンガスが検知されているとの報道は承知している。事故防止のため、安全対策が取られ、ガス濃度を公表するとしている。今後情報収集に努め、その状況に応じた判断をしていく。



三木 浩一 議員
KOICHI MIKI



子育て支援施策について

問 本市では多くの子育て支援が展開されている。本市独自の事業や国や県の補助事業もある。国・県の補助事業として実施しているもの、補助事業を受けていないものはどのようなものがあるか。

答 本市では他市に劣らぬ子育て支援策を実施している。単独事業は、インフルエンザ予防接種、祝入学支援、学校給食費補助など27事業ある。国や県の補助を受けているソフト事業は、障害者福祉手当、出産・子育て応援金給付等42事業あり、省庁や部・課をまたがった事業もある。今後も国や県の情報を幅広く集め、活用できるもの・効果的なものを見極めながら子育て支援を充実させたい。

教育費保護者負担軽減について

問 小中学校の教育課程の中で実施される校外学習などへの補助は給食費より遙かに少ない財

源でできる。学級費の内容についても精査が必要だ。また、高校生の通学補助や自学自習場所の公共施設開放についてはどうなっているのか。

答 こども園の主食提供や中学生の給食の無償提供、高校生までの医療費助成・高校生の駐輪場助成など各世代にわたって幅広く支援している。校外学習への補助は現状では困難である。学級費については適切に指導している。学習の場として、図書館や公民館などを順次開放してきており、今後も拡充していきたい。

昨年度決算について

問 実質単年度収支が四年連続で黒字である。これを新たな事業の財源にできないか。経常収支比率や将来負担比率についてもどのように分析しているのか。

答 実質単年度収支の黒字は流動的なもので、各年度基金に積み立て、当初予算や補正予算の財源に充てている。経常収支比率は財政の硬直化を招くレベルではなく、将来負担比率についても算出されておらず安心できる状態である。